

2

ヴァーレマックス (Vale max)

用語の定義

「ヴァーレマックス」とは、ブラジル資源大手のヴァーレが建造を進める世界最大の40万重量トン型鉄鉱石船の船型のことを言う。ヴァーレは同型船隊を2013年までに計35隻建造する計画であり、2011年5月にシリーズ第一船となる「Vale Brasil」（船舶諸元：全長362m、幅65m、満載喫水23.0m、重量トン数402,347DWT）を就航させている。

ヴァーレマックス船の就航目的

世界における鉄鉱石の輸出は、ブラジルのヴァーレ、豪州のリオ・ティント、BHPビリトンの3社で世界の約60%のシェアを握る寡占状態にある。一方、輸入は中国（65%）、日本（11%）、韓国（3%）の3国で世界の約80%を占めている（2009年現在）。

ヴァーレが取り扱うブラジル産鉄鉱石は、主要な消費地である東アジア市場から遠く、ライバルの豪州の資源会社に比べ地理的に不利な状況にある。そのため、40万重量トン型船隊を投入し、スケールメリットの追求による輸送効率の向上を図るとともに、自社船の船腹量や船社との長期契約を拡大し、売り手が配船を行うCIF（運賃・保険料込み）契約の比率を高め、輸送コストを安定化させることを目的としている。

ヴァーレマックス船の就航をめぐる問題

①バルク船の供給過剰：ヴァーレマックス型船隊の大量投入により、鉄鉱石輸送に使用されているバルク船の供給過剰が発生する。そのため、中国の海運業界等から、自国の海運会社の経営や海運マーケットに悪影響を及ぼすことを理由に反発が起きている。

②安全性：昨年末、ブラジルの鉄鉱石の輸出拠点であるポンタ・デ・マディラ港で、荷積み作業中に船体に亀裂が入り、浸水する事故が発生した。これを受け、本年1月末、中国政府は安全性の懸念を表明し、ヴァーレマックス船を含む35万重量トン超船の入港を禁止する声明を発出した。

③輸入港湾：ヴァーレによると、40万重量トン型船の満載入港に対応可能な港湾は、ポンタ・デ・マディラ、ソハール（オマーン）、タラント（伊）、ロッテルダム（蘭）の4港のみである。中国には大連港、馬迹山港等の大水深岸壁を有する港湾があるが、上記の理由により入港を認められていない。

ヴァーレの対応策

中国政府による入港禁止措置を受け、ヴァーレは、中国政府の法令を順守し、寄港実現に向けた調整を継続するとともに、ヴァーレマックス型船舶の建造計画を続行する方針であることを表明した。

キーワード>>> 船の大きさを示す用語

船の大きさ（船型）を示す用語として「パナマックス」という言葉がよく聞かれる。これはパナマ運河を通航できる最大（max）船型という意味である。また、パナマ運河を通航できず、南アフリカの喜望峰（Cape of Good Hope）回りとなる船は「ケープサイズ」と呼ばれる。船型を示す用語は海運業界で広く用いられる呼称であり、航路や港の制約に由来するものが多い。

なお、日本の地域輸送に使われる船型として、水深の浅い瀬戸内海の航行が可能な最大船型を意味する「瀬戸内マックス」がある。

【参考文献】

世界鉄鋼協会「Steel Statistical Yearbook 2011」、日本海運新聞、海事プレス、国土技術政策総合研究所資料等

呼称	船型※ (重量トン)	主な船型の例					備考
		重量トン	満載喫水	必要岸壁水深	全長	船幅	
ハンディサイズ	1.5万～ 3.5万程度	3万	9.5m	10.5m	190m	27m	小回りの利く船型であり、大型船が入ることができない小さな港にも入ることができる。本船自体に荷役用クレーンを備えているものが多い。
ハンディマックス	3.5万～ 6万程度	4.7万	10.7m	12m	186m	31m	ハンディサイズのうち最大船型。特に5万～6万トンの船型をスプラマックス（Supramax）と呼称。
パナマックス	6万～ 8万程度	7.4万	12.7m	14m	225m	32.2m	パナマ運河を通航できる最大船型。 (喫水：約12.0m、船幅：約32.3m、船長：約294m)。
ポストパナマックス (ニューパナマックス)	10万程度	12万	15.2m	17m	250m	43m	2014年完成予定の新パナマ運河を通航できる最大船型。(喫水：約15.2m、船幅：約49m、船長：約366m)。ニューパナマックスともいう。
ケープサイズ	15万～ 20万程度	15.5万	17.5m	19m	280m	43m	パナマ運河を通航できず、南アフリカ共和国の喜望峰を回る船舶。最大船型としては、南アフリカ東岸のリチャードベイ港に入港可能なサイズである。
VLOC	30万程度	33万	21.1m	23m	340m	60m	超大型の鉄鉱石専用船。Very Large Ore Carrierの略称。
ヴァーレマックス	40万程度	40万	23.0m	25.3m	362m	65m	ヴァーレが建造を進める世界最大の40万トン級鉄鉱石専用船の呼称。
地域輸送	ニューカッスルマックス	18.5万程度	18万	15.2m	16.5m	300m	世界最大の石炭積出港であるオーストラリアのニューカッスル港に入港できる最大船型（船幅47m）。
	瀬戸内マックス	20万程度	20.8万	18.2m	20m	300m	瀬戸内海諸港の製鉄所のバースに寄港しやすい最大船型。最大全長300mで、船幅が広く（50m）、満載喫水が浅め（18.2m）に設計されている。
	マラッカマックス	30万程度	30万	20.8m	23m	333m	マレー半島とスマトラ島の間のマラッカ海峡（最浅箇所は水深23m）を通航できる最大船型。中東-日本間に就航する原油タンカーはこの船型のものが多い。

表1 船の大きさ（船型）の呼称 ※明確な定義は存在しない。